

雑司ヶ谷の案内サイン 検討会2020 ― 報告書 ―



公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
プロジェクト未来遺産2014

「雑司が谷がやがや」プロジェクト
～歴史と文化のまちづくり

雑司が谷未来遺産推進協議会は、「観光客が住宅地の生活道路に入ってきて困ることがある」という地域の声に着目し、これまでに雑司ヶ谷の“建築遺産”とそれらを繋ぐ“道”に焦点を当て、道の棲み分けについて検討を重ねてきました。

建築未来遺産の確認 (2016)	未来遺産をつなぐ道の確認 (2017)	観光客と地域住民とが共生できる道の確認と課題の検討 (2018)	案内ルート、現状の確認と案内板設置の提案 (2019)
シンポジウムの実施	シンポジウムの実施	シンポジウム、ワークショップの実施	シンポジウム、ワークショップの実施

2020年度は、その結果を踏まえ、雑司ヶ谷の案内サインのあり方の検討を進めました。

※ここでの案内サインは、主に案内地図サイン、誘導サインのことを指します。（豊島区案内サインガイドライン（令和元年度6月）より）

第1回検討会：3つのエリア別 2020年11月10日（火）参加者48名

- 1) 主に明治通り西側エリア（西池袋、南池袋1丁目）
- 2) 主に都電西側エリア（雑司が谷2、3丁目、南池袋2、3丁目）
- 3) 主に都電東側エリア（雑司が谷1、2丁目、南池袋4丁目）

第2回検討会：地域全体 2020年12月8日（火）参加者25名

対面型とオンライン型（Zoom）での実施



第1回検討会の様子

◆案内サインの現状◆

（日本女子大学 家政学部 住居学科 薬袋研究室による現地調査及び検討会意見より抜粋）



①公共の案内サイン

《雑司ヶ谷全体の道案内や案内サインについて》

- ・既存の公共（写真①②）民間（写真③④）の案内サインは、表記やデザインが統一されておらずわかりにくい。
- ・施設近くでないと公共の案内が設置されないことがある。
- ・公共の案内サインは、主に幹線道路に設置されている。
- ・東京メトロ雑司が谷駅/ 都電荒川線都電雑司ヶ谷停留場、鬼子母神前停留場/ JR目白駅の各駅から訪問者（観光客含）への案内サインが不足している。



②雑司ヶ谷霊園までの案内

《雑司ヶ谷霊園までの案内（写真②）》

- ・線道路での設置が目立つ。

《雑司が谷旧宣教師館までの案内》

- ・施設近くには設置されている。

《自由学園明日館までの案内（写真③）》

- ・公共の案内サインは少なく、施設側が電柱広告等で案内。

《目白庭園までの案内》

- ・JR目白駅近辺のみに案内サインが設置されている。

《弦巻通りの案内（写真④）》

- ・通りの起点と終点に案内がなく、弦巻通りまでが分かりにくい。（通り内には商店会が設置）

《その他》

災害時の避難場所、避難所等に関する案内が少ない。



③施設が設置した自由学園明日館までの電柱広告による案内



④弦巻通り商店会の案内（通り内）

◆ 検討会で出された主なご意見・ご提案①～⑧ ◆

< 第1回 >

① 歴史的で文化的建築物があり、かつ、住宅地である地域特性を活かしたサイン計画

→案内サインは駅前など必要最低限に抑えてほしい。
→住宅地には誘導サインや代替するサイン計画等で工夫。

② 雑司ヶ谷地域全体を回遊しやすくなる案内、地域特性を活かした統一したデザイン

→目白周辺と現在の雑司ヶ谷エリアを迷わず回遊できるようなサイン計画。

③ 歴史的背景など正しい認識のもとに正式名称を記載

→例：ケヤキ並木⇒大門櫨並木

④ 設置スペースがない場合は、既存施設や設備の活用を検討するなどして工夫

→例：ベンチや壁にサインを貼る。道路に舗装やシールなどを貼る、掲示板に誘導サインを設置など

⑤ すぐに設置ができない場合は、豊島区と連携をはかりながら地域で試行的にできることから取り組む

→例：道や壁にシール等を貼って検証など

⑥ 『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』をルートに

→案内ルートは、雑司ヶ谷の建築遺産や名所を繋ぐ『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』で良いが、新たな提案箇所も検討する。（3頁地図参照）

< 第2回 >

⑦ 『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』

→法明寺境内を通る墓地との間の道を新たに提案。法明寺の意思確認が必要。

→池袋周辺で先行して検討している案内サインとの整合性を図る。（特に、南池袋公園隣の道（本立寺））

⑧ 豊島区、東京都と考え方を共有し連携をはかり、できることから取り組む。

→豊島区の案内サインガイドラインに基づいて設置。生活道路まで入り込まない案内サインの設置のあり方を検討する。

→都市計画道路（環5の1）の動向も注視。



第2回検討会の様子

◆ 雑司ヶ谷の案内サインの提言(案) ◆

【案内ルートの考え方・方針】

□ 迷いこまない案内方法を検討する（ご意見②）

・雑司ヶ谷を訪れてくる人たちが地域住民のための住宅地、生活道路に迷いこまない案内のあり方を検討する。

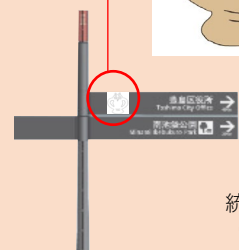
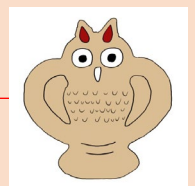
□ 『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』を案内ルートの基本とする（ご意見⑥⑦）

【案内サインの考え方・方針】

□ 豊島区案内サインガイドラインを基本としながら地域特性を活かした雑司ヶ谷らしい案内サインの設置（ご意見①②⑦⑧）

- ・木造密集市街地でスペースに限りがあるため、案内地図サインは駅前など主要箇所に。誘導サインは施設に近い住宅地内に設置するなど、適材適所のサイン計画とする。
- ・雑司ヶ谷は鬼子母神周辺、大門櫨並木、雑司ヶ谷霊園周辺、弦巻通り、目白周辺などエリアごとに表情がさまざまなので、区のガイドラインを基本に統一のとれたデザインにしながら、エリアごとに“雑司ヶ谷らしさ”を出したデザインにする。
- ・誰もわかるユニバーサルデザインの案内とする。（例：ピクトグラム、イラスト、ロゴマークの活用など）

※「雑司ヶ谷」は、住居表示上の「雑司ヶ谷」と呼ばれていた現在の南池袋や西池袋の一部も含みます。



統一マーク
(学生案)

□正式な名称を記載する（ご意見③）

- ・言いやすさや新しさを簡単に名称を変えたりせず、雑司ヶ谷の歴史的背景を踏まえた正確な名称を案内サインには記載する。

□設置スペースがない場合は、別の案内をする方法を検討する（ご意見④⑤）

- ・案内サインが設置可能なスペースに限りがあるため、設置が難しい場合は別の案内のあり方を検討する。
(例：ベンチや壁にサイン。道路舗装、色彩、シールなどで工夫、掲示板に誘導サインを設置など)

□既存の案内サインを整理した上で、設置する案内サインにする（ご意見①⑦）

- ・既存の案内サインを整理した上で、新規に設置する案内サインは本当に必要な箇所に設置する。



壁にシール（学生案）

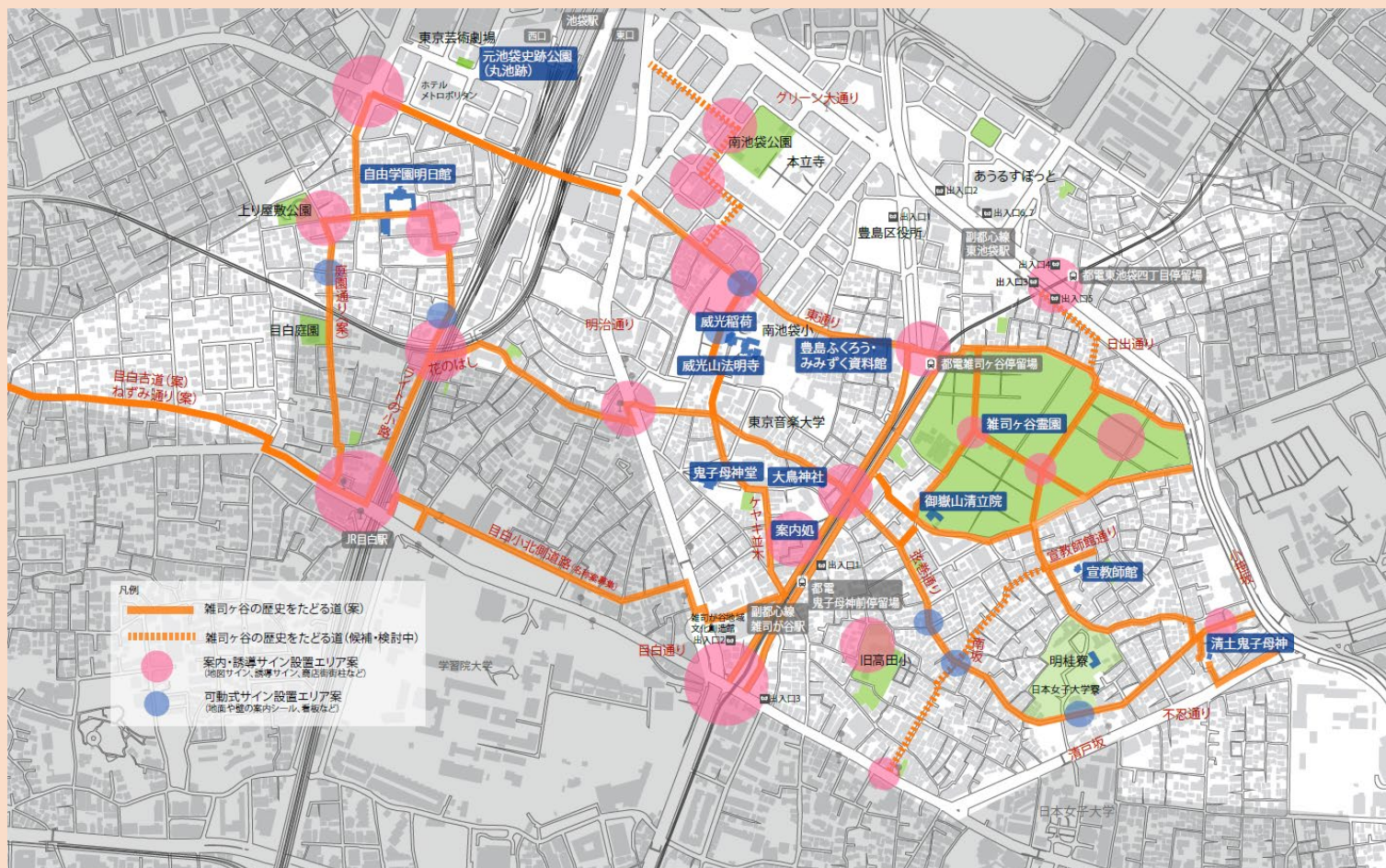


地面にシール（学生案）

◆雑司ヶ谷の歴史をたどる道、および案内サイン設置箇所候補（案）◆

<案内サイン設置の基本的考え方>

- ☆各駅出入口は設置可能であれば、案内サイン（案内地図サイン、もしくは誘導サイン）を設置する。
- ☆幹線通りから地域内の小道に入る箇所で案内をするべき施設につながる箇所には、誘導サインを設置する。
- ☆地域内で迷いやすいところは誘導サインで方向を示す。



※ワークショップ、検討会等を踏まえての候補地（案）です。今後、実際に設置するスペースがあるかなどは検証し、必要最小限の案内サインを設置予定です。

◆今後の進め方等◆

- ☐ 豊島区、東京都、関係団体と適宜情報共有をはかり、既存計画含め連携して進めていく。
- ☐ 案内サイン（案内地図サイン、誘導サイン）の候補地の設置の実現性を検証する。
- ☐ 雑司ヶ谷地域全体で地域住民や住民組織と協力しながら、できる箇所から試行的な取り組み等を実施していく。
- ☐ 「雑司ヶ谷の歴史をたどる道」はサイン設置後も実情に合わせて、随時見直す。
- ☐ 豊島区や雑司ヶ谷の関連ウェブサイトや連携雑司ヶ谷未来遺産推進協議会のウェブサイトと連携をしていく。

◆今後のスケジュール（予定）◆

※2021年6月末時点での予定です。
状況によりスケジュールが変更になる場合があります。

～2021年7月

- ☐ 『雑司ヶ谷の案内サインの提言(案)』を雑司ヶ谷未来遺産推進協議会ホームページ等で公開し、提言（案）に関する意見を募集
- ☐ いただいた意見を踏まえて提言としてまとめる。
- ☐ 提言を豊島区（及びその他関係主体）へ提出。

※地域からの意見を踏まえ、雑司ヶ谷未来遺産推進協議会が主体となって提出します。

8月～12月

- ☐ 案内サイン候補地の設置スペースの検証、関係部署と調整。
- ☐ 検証を踏まえ、案内サインが設置可能な箇所については、エリアごとに合意形成をはかりながらデザインワークショップ等を実施。
- ・地域で試行的に社会実験等を実施する。（例：道や壁にシール等を貼って検証など）

2022年度以降

- ☐ 可能なエリアから案内サインを設置。

「案内サインの提言（案）」について ご意見をお寄せください！

皆さまからのご意見を踏まえて提言としてとりまとめ、
雑司ヶ谷未来遺産推進協議会から豊島区へ提出いたします。

〈提言内容についてのご意見・お問合せ〉

E-mail: zoshigaya.sign@gmail.com FAX: 03-5875-1673（担当：小口）

〈雑司ヶ谷未来遺産推進協議会についてのお問合せ〉

雑司ヶ谷未来遺産推進協議会事務局（公益財団法人 としま未来文化財団内）

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-20-10 としま区民センター4階 /TEL: 03-3981-4732

※雑司ヶ谷未来遺産推進協議会とは

平成26年に日本ユネスコ協会連盟から『雑司ヶ谷がやがやプロジェクト（－子供たちが100年後の未来にも誇りを持ってここ雑司ヶ谷に暮らせるよう、そこで暮らす人たちが力を合わせて古き良き伝統を継承し、自然と時代の変化を調和させながら、地域の文化・自然遺産を伝えてく活動－）』が選ばれ、雑司ヶ谷の皆さんの地域活動やまちづくり活動が高く評価されました。活動継続のため、平成27年に雑司ヶ谷未来遺産推進協議会が設立されました。